



小井土 哲雄 議員

新庁舎に総合案内設置の考えは

現時点ではないが設置可能なスペースはある

問 来庁者の対応に苦情や問い合わせは。

答 総務課長 町長に直接メールで職員対応の苦情や窓口での苦情が毎年何件かある。

問 研修を実施しているが、どのような指導か。

答 総務課長 接遇研修は専門の講師を招き、一般的な接客サービス業に対する電話、窓口対応の言葉遣い、態度の研修を受けている。

さらなる職員一人ひとりの意識改革と対応、接遇の改善に努めたい。

問 新庁舎に総合案内設置の考えは。

答 総務課長 近年、新庁舎を建設した幾つかの先進地視察をしたところ、コンシェルジュ的な総合案内を設置している自治体もあったが、いずれも町より大きな自治体であった。

現時点では考えていないが、今後設置の必要性が生じる可能性もあるので、総合案内ブース等の設置可能なスペースは考慮してある。

町長 新庁舎で総合案内という考えは私にはない。当町の規模では、必要性がどうかと思う。



建設中の新庁舎

2万人実現に向けての施策は

企業誘致、住宅用地など人口増に向け計画

問 町最大のテーマである2万人都市構想と今後考えられる人口減のギャップをどのように分析し、捉えているのか。

答 企画財政課長 超長期目標2万人公園都市構想と社会保障人口問題研究所の推計には、ギャップが生じている。

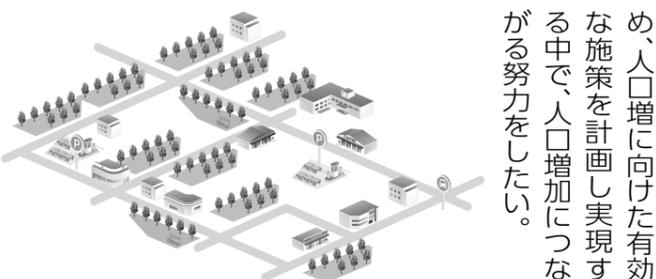
2万人公園都市構想は、御代田の将来に夢や希望が持てる超長期目標として掲げたもので

ある。しかし現実には推計のとおり穏やかに減少傾向へ転じていくことも考慮しなければならぬ。

問 今後、人口を維持する対策となる計画は。

答 企画財政課長 地方創生が叫ばれる中、御代田町も大きな転換期を迎えようとしている。

現在進めている企業誘致、住宅用地の確保などにより町の魅力を高



池田 るみ 議員

保育料へ未婚のひとり親世帯に

寡婦控除のみなし適用を

制度導入に前向きに検討していく

問 子どもの貧困の実態把握は。

答 保健福祉課長 生活保護受給世帯と生活就労支援センター「まいさほ佐久」における相談者の情報などから把握に努めている。

問 要保護、準要保護の世帯の就学援助の状況は。

答 教育次長 28年度末で要保護が2名、準要保護が14名で援助率は9.8%である。

問 入学児童生徒への就学援助の前の倒し支給は。

答 教育次長 近隣市町では既に入学前の支給をしているところもある。その状況を参考に研究を進める。

問 子どもの医療費窓口無料化は。

答 保健福祉課長 30年度中に中学校卒業まで窓口無料化が実施されるのに合わせ内容を検討して、準備を進める。

問 未婚のひとり親世帯へ、寡婦控除のみなし適用で、保育料など福祉サービスの差の解消は。

答 教育次長 17年から開始したサ

答 町民課長 今後保育料は、母子家庭調査の内容も踏まえて実態把握に努め、町の財政状況も勘案した上で、制度導入について前向きに検討していく。

問 中学生を対象としたサタデースクールの利用状況は。

答 教育次長 昨年は、1年生5名、2年生14名、3年生11名の30名であった。

問 サタデースクールの事業内容と果たす役割は。

答 教育次長 17年から開始したサ



ステップアップスクール

タデースクールは今年度見直しをした。ノー部活デーの水曜日の放課後に放課後学習塾としてステップアップス

クルという形で実施をする。今年度は3年生を対象に英語と数学の2教科で基礎学力の定着が目的である。

問 子ども食堂についての考えは。

答 保健福祉課長 現在行っている「まいさほ佐久」を通じたフードバンクを活用し、食料支援を行っていく。

問 子どもの貧困対策は、教育委員会、保健福祉課、町民課などにまたがる問題である。町長は、どのようにまとめ対策をしていくのか。

答 町長 効果的な支援はどうかあるのか、国や県の動向を見ながら、この課題に取り組んでいく。